

北海道・サハリン州友好・経済協力推進協議会
第16回合同会議録（概要）

1. 日時：平成27(2015)年10月23日(木) 11:17～12:55
2. 場所：サハリン州政府庁舎交渉室(サハリン州ユジノサハリンスク市)
3. 出席者：別紙のとおり。
4. 議長：サハリン州側協議会会長代行 ハン D. A.
北海道側協議会座長 田畑 伸一郎
5. 議事： (1) プロジェクトリストの策定について
(2) 寒冷地向け温室栽培をはじめとした農業分野での交流について
(3) エネルギー分野での交流について
(4) 博物館交流について
(5) 姉妹都市交流について
(6) その他
(7) 次期(第17回)合同会議の開催について
(8) 閉会
6. 内容：以下のとおり

(1) プロジェクトリストの策定について

(篠原参事)

サハリン州と北海道との間でのプロジェクトリストを策定する話は、一昨年、高橋知事がサハリン州に来た時に知事会談で署名した友好・経済交流促進プランに基づいて策定されることになっている。プロジェクトリストは、その都度、見直すことも合意されている。具体的なプロジェクトリストの中身については、非公開として州政府と北海道の間で調整をしたいと思う。その中でも公表してよいもの、既に進んでいるものなどは道庁と州政府の調整後に、それぞれ発表していきたいと思う。

(ザギドゥリナ副部長)

2013年にサハリン州と北海道はこれからの両地域の友好・経済交流促進プランを策定して、プロジェクトリストを入れた。そのリストの中では、インフラ整備、交通、観光、水産、農業の分野がある。特別のグループもあり、その中では保健・医療交流、食品安全対策がある。また、別な事業では教育、科学、文化、スポーツ交流がある。

昨日、サハリン州知事と北海道知事の会談では、ロシア極東は急速に発展しており、状況が変わっているという話が出た。事業のプロジェクトの様子は、現状に基づいて変わってくる可能性もあり、変わる場合、サハリン側は皆さんに案を出す。このような課題は北海道とサハリンの事務局レベルで検討すればいいと思う。

(篠原参事)

同意する。必要があれば事務局で行う。事務局の調整の段階でプロジェクトリストに盛り込めるもの、盛り込めないもの調整はその段階でされると思う。

(2) 寒冷地向け温室栽培をはじめとした農業分野での交流について

(篠原参事)

農業分野での交流については、先ほど高橋知事がプレゼンテーションをした。また、今日は知事のプレゼンテーションでも紹介のあった越浦パイプ社にもオブザーバーとしてお越し頂いている。北海道庁もサハリン州における温室栽培にできる限りの協力をしていく。

(越浦パイプ社・越浦社長)

サハリンに、2棟のハウスを建設した。その経緯として、昨年2月、このユジノサハリンスク市においてハウスの説明会を催した。日本・北海道の農業施設に関する関心が高く、サハリン州とユジノサハリンスク市に1棟ずつ寄贈することを決意した。サハリンは北海道の気候と類似しているが、当地で北海道の施設園芸が保たれるかどうか、技術の面で今回試験的に2棟建ててみて、今回の暴風において耐え得ると確信できた。

サハリンの農業者に一番興味があるのが今回の暴風や雨や雪にも十分耐え得るビニールである。実際にハウスで栽培した人の話によると、従来60日かかる栽培が45日未満で栽培ができたそうなので、これから今年の冬にかけて暖房を入れて温室栽培を始めるようだが、冬物の野菜を作る技術を習得して頑張っていたきたい。

(ハン副大臣)

先日、台風が来た後、私は、すぐに越浦パイプ社の温室を見に行ったが、全く影響がなかった。越浦パイプ社の温室の技術はサハリンにとって大きな意味を持っている。この技術を導入すれば、サハリン州全体で食料問題を解決することができる。問題は価格である。

近いうちにより多くのパートナーが出てくることを期待する。

(ヤクシャ州農業・商業・食料省副大臣)

越浦パイプ社からは、これまで2棟の温室をサハリン州に提供いただいた。現在のサハリン州の課題は、この越浦パイプ社の製造コストを下げ、サハリンで製造することを考えなければならないことである。これからサハリン州全体に普及されると信じている。

昨日の知事会談においてコジェミヤコ知事が述べたとおり、サハリンでの農産物の収穫量を増やすため、日本産種子のテストを行いたいと考えている。

1991年、日本の企業は、サハリンに6千トンのジャガイモを保管できる倉庫を建設したが、現在、州政府は、この倉庫を改修する計画がある。

雪氷エネルギー技術を導入したジャガイモの倉庫を建設するプロジェクトもある。倉庫はチプリチニー社の敷地内に建設する予定であり、既に北海道側から図面等の書類を受け取っている。

(IHIスター小原部長)

今年の3月に当社の製品をサハリンに持ってきている。昨日、コジェミヤコ知事にもお話したところ、非常に興味があるということでカタログやビデオが欲しいと言われた。今回のお客様もサハリンでビジネスを始めたばかりで、サハリンでの認知度も低いことから、私どももサポートをするとともに、PRや技術指導をしていきたいと考えている。

(3) エネルギー分野での交流について

(篠原参事)

エネルギー分野は、先ほど知事もプレゼンテーションをしたが、サハリン州で採れる豊富なガスなどをサハリン州の皆様が使えるように、北海道でもチームを作って、協力をしたいと考えている。自動車のガス化の協力を進め、サハリン州のガス専門家の研修として北海道のガス研修施設を視察してもらうなどの交流もしている。州政府と協力して進めていきたい。

(チホニキフ・ガス化・インフラ発展庁長官)

先般の北海道訪問では北海道側から温かい歓迎を受けたことに感謝する。サハリン州では、ここ2年

間で、ガス化自動車を扱う動きも出てきており、現在サハリンで走っているガソリン車、ディーゼル車をガス化自動車に変更する技術を習得しようとする技術者もいる。北海道サハリン事務所に昨日のプレゼンテーションにもあったガスとガソリンを燃料とする車を配置すれば、サハリン住民も実際に見ることができ、ニーズも生まれ、サハリンでも良い実例となる。ロシア国民は日本製品の品質を信用している。

魅力的な分野のもう一つは、バイオ燃料である。サハリンでは、農業分野はこれからも活発に進めている。バイオガスでも、これからは北海道とサハリンとの間でバイオガス分野の交流を進める時に、サハリンの関係者は北海道の工場を視察し、研究をする必要がある。皆さんと一緒にガス化自動車のプロジェクトを全面的に協力したいと思う。近いうちにガス化自動車の認証に関する課題は検討しなければならない。ロシアで販売することができるようにお互いに頑張ろう。

(4) 博物館交流について

(篠原参事)

北海道博物館とサハリン州博物館との間で、学術的交流が25年間続いている。今後5年間に向けた協力協定を新たに結ぶこととなっている。

(5) 姉妹都市交流について

(早坂剣淵町長)

先般の市民交流会議の際、9月10日にアニワ市を初めて訪問する機会を得た。

アニワ市長からは、青少年スポーツ交流も剣淵町と行いたいとの提案があった。我が町としては、アニワ市との交流内容の検討と、パブリックコメントを募集し、その後、町議会の承認を求め、調印に向けて前に進みたいと考えている。調印まで1年ほど要すると言われている、交流の具体的内容についてアニワ市と検討を行いたい。

(ハン副大臣)

政府としては、より早く姉妹都市になるよう検討していただきたいと思う。

(6) その他

(篠原参事)

日露フェリーの存続や丘珠空港からのチャーター機を含む航空ネットワークの整備等の交通ネットワークについては議題になっていないが、本日、上原北海道エアシステム(HAC)取締役副社長に出席頂いているので紹介する。サハリン州政府及びオーロラ航空の協力の下、HACの運航により、今回、高橋知事はHACチャーター機で到着したことについて感謝する。

また、北海道経済産業局の佐藤課長も出席しているが、同局の協力を得て、現在、ビジネスマン同士が別会場においてビジネス商談会を実施していることも紹介する。

(コトリノフ運輸・道路事業省副大臣)

今般、ロシア連邦法案の案文ができ、コルサコフ、ネベリスク、ホルムスクは自由港の資格を得る可能性がある。その法案によると、ウラジオストク港と同様の権限が、サハリン州の3つの港に移譲される予定である。この法案審議は段階的に進んでおり、関係者から高い評価を得ている。今後、本法案はロシアの下院に提出されると思う。

(7) 次期(第17回)合同会議の開催について

(藤島主幹)

次回の第17回合同会議を、2016年に札幌市で開催することを提案する。

※異議なく了承

(8) 閉会

(ザギドゥリナ副部長)

以上で第16回合同会議を終了する。

別紙：出席者

【北海道側】

国立大学法人 北海道大学教授 田畑伸一郎
(北海道側座長)

北海道経済部地域経済局国際経済室長 三本ゆかり
(北海道側副座長)

稚内市サハリン事務所長 渡辺公仁人
(公社)北海道国際交流・協力総合センター研究員 吉村 慎司

【オブザーバー】

経済産業省北海道経済局国際課長 佐藤 憲明

石狩市港湾・企業支援課長 堂屋敷 誠

石狩市港湾・企業支援課主査 佐藤 大輔

剣淵町長 早坂 純夫

国立大学法人 北海道大学 大学院教授 瀬戸口 剛

(株)北海道エアシステム取締役副社長 上原 裕之

(株)北洋銀行国際部国際企画課長 竹岸 誠二

(株)IHIスター営業副本部長兼海外営業部長 小原 信孝

越浦パイプ(株)代表取締役 越浦 政俊

越浦パイプ(株)開発部次長 田村 俊和

【サハリン州側】

サハリン州投資・対外関係省副大臣 ハン D. A. (サハリン側協議会会長代行)

在ユジノサハリンスク外務省代表 ノソフ V. N.

サハリン州農業・貿易・食料省第一副大臣 クジメンコ M. P.

サハリン州農業・商業・食料省副大臣兼農業貿易食料局長 ヤクシャ A. V.

サハリン州運輸・道路事業省副大臣兼鉄道海上自動車運送局長 コトリコフ S. A.

サハリン州漁業庁副長官 ジデンコ S. Y.

サハリン州ガス化・インフラ発展庁長官 チホニキフ V. N.

【事務局】

サハリン州投資・対外関係省対外関係部副部長 ザギドゥリナ I. A. (サハリン側協議会事務局長)

北海道経済部地域経済局国際経済室参事 篠原 信之 (北海道側協議会事務局長)